

三豊市地域新エネルギービジョンを策定します

地球温暖化防止のため、日本などの先進国に二酸化炭素など温室効果ガスの排出量削減を義務づけた京都議定書が2005年2月に発効し、国際的な対策が動き始めています。

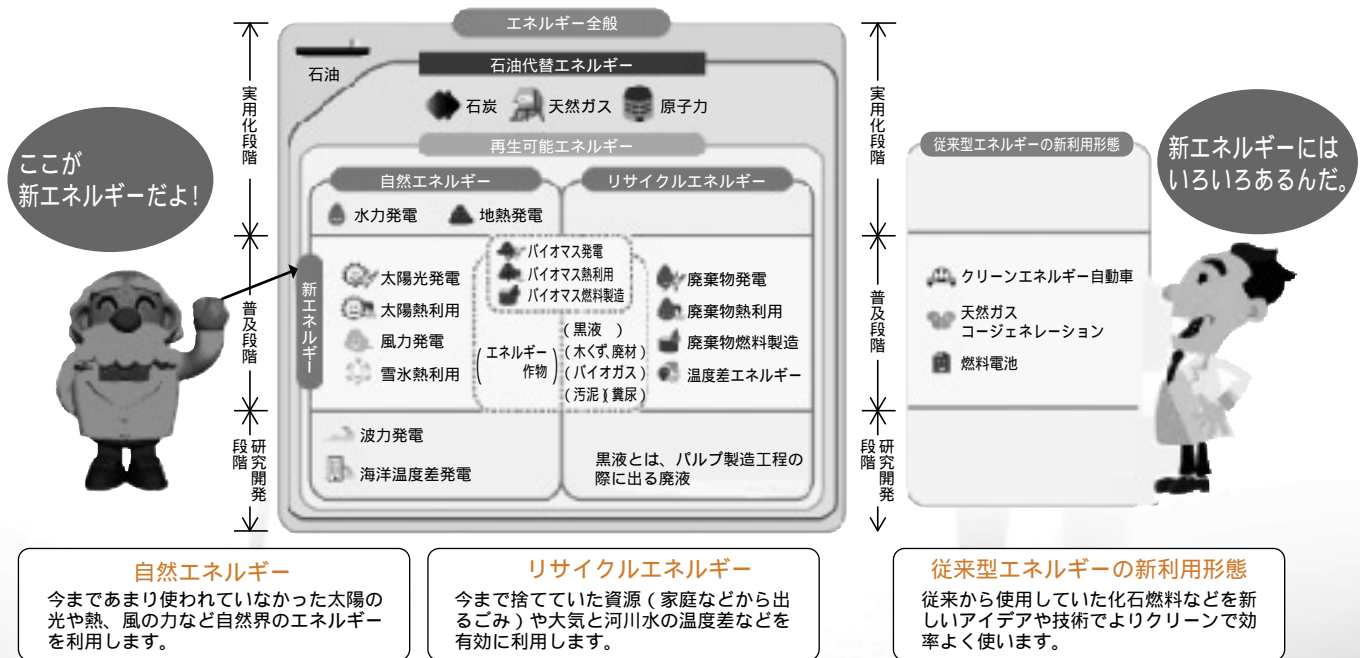
日本は2008年から2012年までの排出量を1990年レベルより平均で6%減らさなければなりません。温室効果ガス削減は、国民一人ひとりの責務であり、市民ぐるみ・地域ぐるみで取り組んでいく必要があります。その一環として、石油・石炭など二酸化炭素を大量に発生する従来の化石燃料に代えて、太陽光発電、風力発電、バイオマスエネルギーなどの新エネルギーを普及促進させることが、重要な課題になっています。

そこで三豊市では、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の補助を得て「三豊市地域新エネルギービジョン」の策定に取り組むこととなりました。この「三豊市地域新エネルギービジョン」では、三豊市の自然環境や社会環境に適合した新エネルギーについて研究し、その普及を図るための方策を検討するものです。

ビジョンの策定は、学識経験者を含む策定委員会での検討を経て、2007年2月末までに策定します。ビジョン策定にあたっては、市民の皆さんに対しアンケート調査や聞き取り調査、現地調査なども行う予定ですので、ご協力をお願いします。

新エネルギーとは

技術的に実用化段階にありながら、経済的な制約等により普及が遅れているエネルギー利用技術のことです。太陽光発電や風力発電、バイオマスエネルギーなど『再生可能エネルギー』と燃料電池や天然ガスコージェネレーション、クリーンエネルギー自動車などの『従来型エネルギーの新利用形態』に大別されます。



自然エネルギー
 今まであまり使われていなかった太陽の光や熱、風の力など自然界のエネルギーを利用します。

リサイクルエネルギー
 今まで捨てていた資源(家庭などから出るごみ)や大気と河川水の温度差などを有効に利用します。

従来型エネルギーの新利用形態
 従来から使用していた化石燃料などを新しいアイデアや技術でよりクリーンで効率よく使います。

アンケート調査実施のお知らせ
 地域新エネルギービジョンを策定するにあたり、広くご意見をお聞きするため、市民アンケート(無作為に抽出した2,000人)、事業所アンケート(同100事業所)、小・中学生アンケート(同200人)を11月(予定)に実施します。郵送によりアンケート票が届きましたら、ご協力をお願いします。

問い合わせ 環境衛生課 62-1120